

## iPS細胞を活用した再生医療関連産業 及び創薬産業の事業化支援について

【担当省庁：文部科学省、厚生労働省、経済産業省、中小企業庁】

京都府では、「iPSの京都（みやこ）」実現のため、平成30年4月新設予定の理化学研究所バイオリソースセンターサテライト等と連携し、iPS関連の研究機器開発や創薬応用の本格展開に向けた取組を進めることとしている。

これまで京都府は「地域産業育成産学連携推進事業」を活用しながら、府内の中小企業等と理研や府内の大学等で構成されるグループに対し、産学連携による本格的な研究プロジェクト組成に対する支援を行っている。

については、それらのグループが行う再生医療分野・創薬分野での実用化に向けた研究開発について、創薬基盤推進事業等において採択していただきたい。

### <地域産業育成産学連携推進事業での事例>

- iPS細胞の適正な誘導分化を確認することで、新薬の有効性を評価することができる非侵襲の検査システムの開発  
(府内中小企業と京都大学による研究グループ)
- 新薬開発に欠かせない安全性評価の時間を劇的に短縮し、製薬企業における開発コスト削減が期待できる研究  
(府内中小企業と京都大学による研究グループ)

京都府  
の担当課

商工労働観光部 ものづくり振興課 (075-414-5103)

### ■概算要求

#### 【厚生労働省】

◎創薬基盤推進研究事業 27.5億円(29年度予算額21.5億円)

革新的な医薬品の創出を目指して、創薬の基盤技術に係る研究を推進し、医薬品の開発過程を迅速化・効率化するための研究を推進する。

#### 【文部科学省】

◎再生医療実現拠点ネットワークプログラム 89.9億円(29年度予算額89.9億円)

疾患特異的iPS細胞を用いた疾患発症機構の解明、創薬研究や予防・治療法の開発等をさらに加速させるとともにiPS細胞の利活用を促進する。

◎創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業 32.0億円(29年度予算額29.0億円)

創薬等ライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する先端研究基盤を整備し、創薬支援ネットワークの技術の補完や研究機関等による研究を支援する。

#### 【経済産業省】

◎再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業 40億円(29年度予算額24.5億円)

iPS細胞等の幹細胞を用いた再生医療を支える関連機器の実用化の促進、再生医療技術を応用した新薬創出を加速することにより、国際競争力の強化を目指す。

### ■京都府の状況

山中教授のノーベル賞受賞に代表される「iPS細胞に関する世界最先端の英知」の集積のもと、再生医療の研究開発や研究成果の実用化が先進的に展開されている。その成果を広く社会に還元していくことを目的に、京都が有するものづくり技術や人材の集積等の優れたポテンシャルを活かして、iPS関連のビジネス展開を図ることを通じ、次代の京都ブランド産業として育成し、iPSビジネスで世界を牽引する魅力に溢れた「iPSの京都（みやこ）」を実現していく。

### ◎地域産業育成産学連携推進事業

産学連携で取り組む国資金等獲得に向けたプロジェクト組成を支援するため、勉強会、試作、市場調査、事業計画策定などを応援する補助制度。

